

Week of November 1, 2026 - You Are in a War | Small Group Study 20

知り合う

本当は終わらせたい大切な作業があるのに、気づいたら関係のない動画を見たり部屋の掃除をしたりしていた、ということはありますか。私たちがやるべきだと分かっていることと実際にやることの間に、大きなギャップがあることが多いのはなぜでしょうか。

聖句　ローマの信徒への手紙 7:7-13（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

14 私たちは、律法が霊的なものであると知っています。しかし、私は肉の人であって、罪の下に売られています。15 私は、自分のしていることが分かりません。自分が望むことを行わず、かえって憎んでいることをしているからです。16 もし、望まないことをしているとすれば、律法を善いものとして認めているわけです。17 ですから、それを行っているのは、もはや私ではなく、私の中に住んでいる罪なのです。18 私は、自分の内には、つまり私の肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はあっても、実際には行わないからです。19 私は自分の望む善は行わず、望まない悪を行っています。20 自分が望まないことをしているとすれば、それをしているのは、もはや私ではなく、私の中に住んでいる罪なのです。21 それで、善をなそうと思う自分に、いつも悪が存在するという法則に気付きます。22 内なる人としては神の律法を喜んでいますが、23 私の五体には異なる法則があって、心の法則と戦い、私を、五体の内にある罪の法則のとりこにしているのです。24 私はなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、誰が私を救ってくれるでしょうか。25 私たちの主イエス・キリストを通して神に感謝します。このように、私自身は、心では神の律法に仕えていますが、肉では罪の法則に仕えているのです。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 4-15節によると、パウロは律法が霊的であると述べています。彼は自分自身の肉をどのように描写し、自分が本当に望むことの代わりに結局何をしてしまうと述べていますか。

2. 16-19節でパウロは、なぜ神様に従えないのかを説明しています。18節によると、良いことをしたいという強い願いがあるにもかかわらず、自分の肉には何が欠けているとパウロは明確に述べていますか。

3. 20-23節を見ると、パウロは自分の中で起こっている戦いについて説明しています。彼の内なる心はどの法則を喜んでおり、体の中の異なる法則は彼に対して何をしていますか。

4. 24-25節に基づいて、23節で述べられている問題を解決するために、パウロはどのような解決策を提示していますか？

分かち合い

話し合い　その１

武牧師は、お父さんに会えなくなるのを恐れて、病院で体温についてうそをついてしまった体験をシェアしました。彼は、アダムとエバと同じように、神様を信頼していなかったために肉に従って行動してしまったのだと気づきました。私たちがストレスのかかる状況に直面したとき、ただ神様を信頼する代わりに、自分で状況をコントロールしようとしてしまうのはなぜでしょうか。

話し合い　その2

武牧師は、希望していた焼き魚を食べられなかったことに腹を立て、熱海での家族の食事を台無しにしてしまった体験をシェアしました。彼は愛情深い父親でありたいと心から願っていましたが、自分の肉に負けてしまいました。私たちがこのように失敗して肉に従ってしまったとき、神様や周りの人たちとの関係を修復するために、どのようにキリストに似た対応（Christlike way）ができるでしょうか。

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。